

いしかわ地域版 環境ISOのあらまし



石 川 県

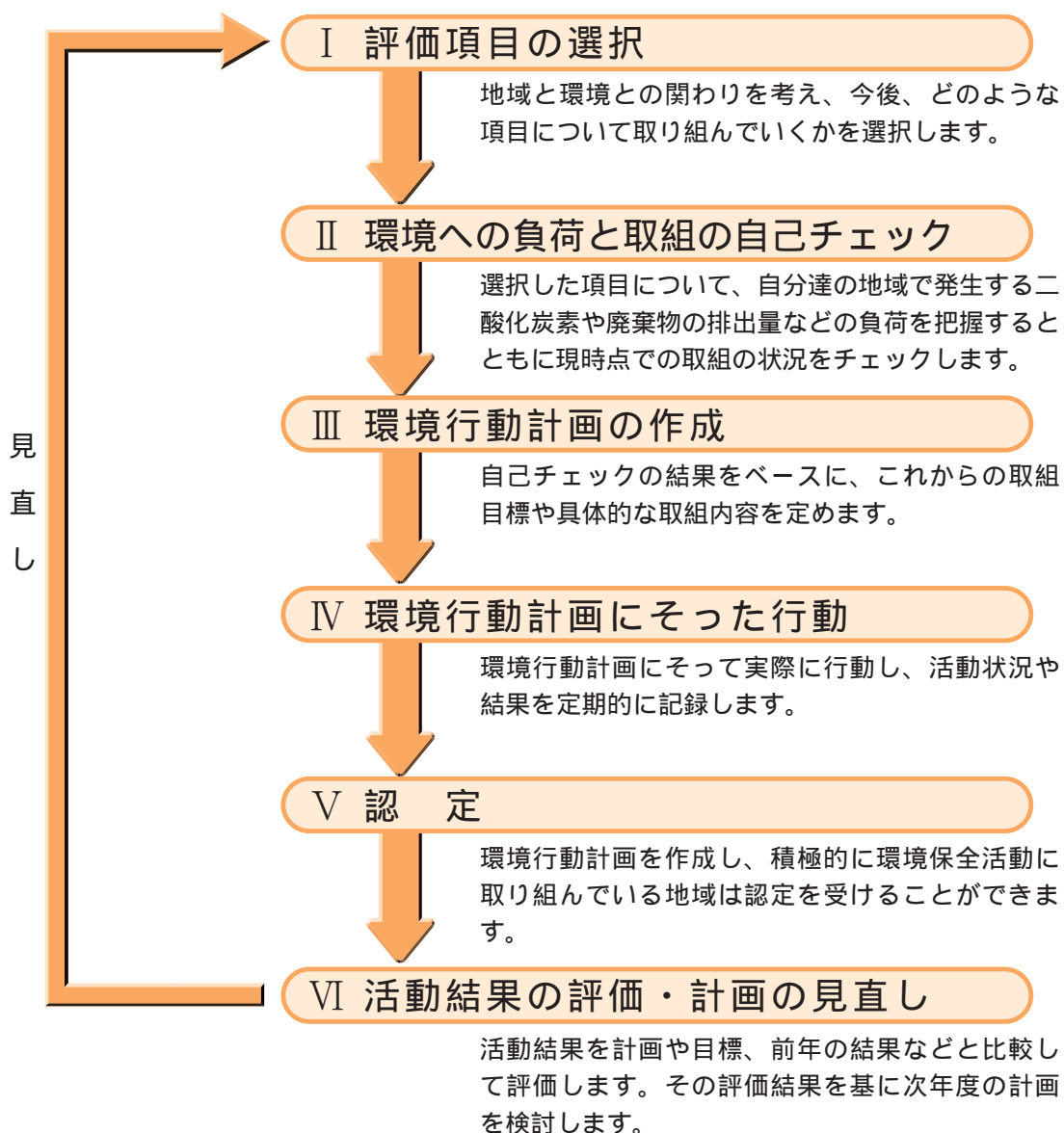
いしかわ地域版環境ISOとは

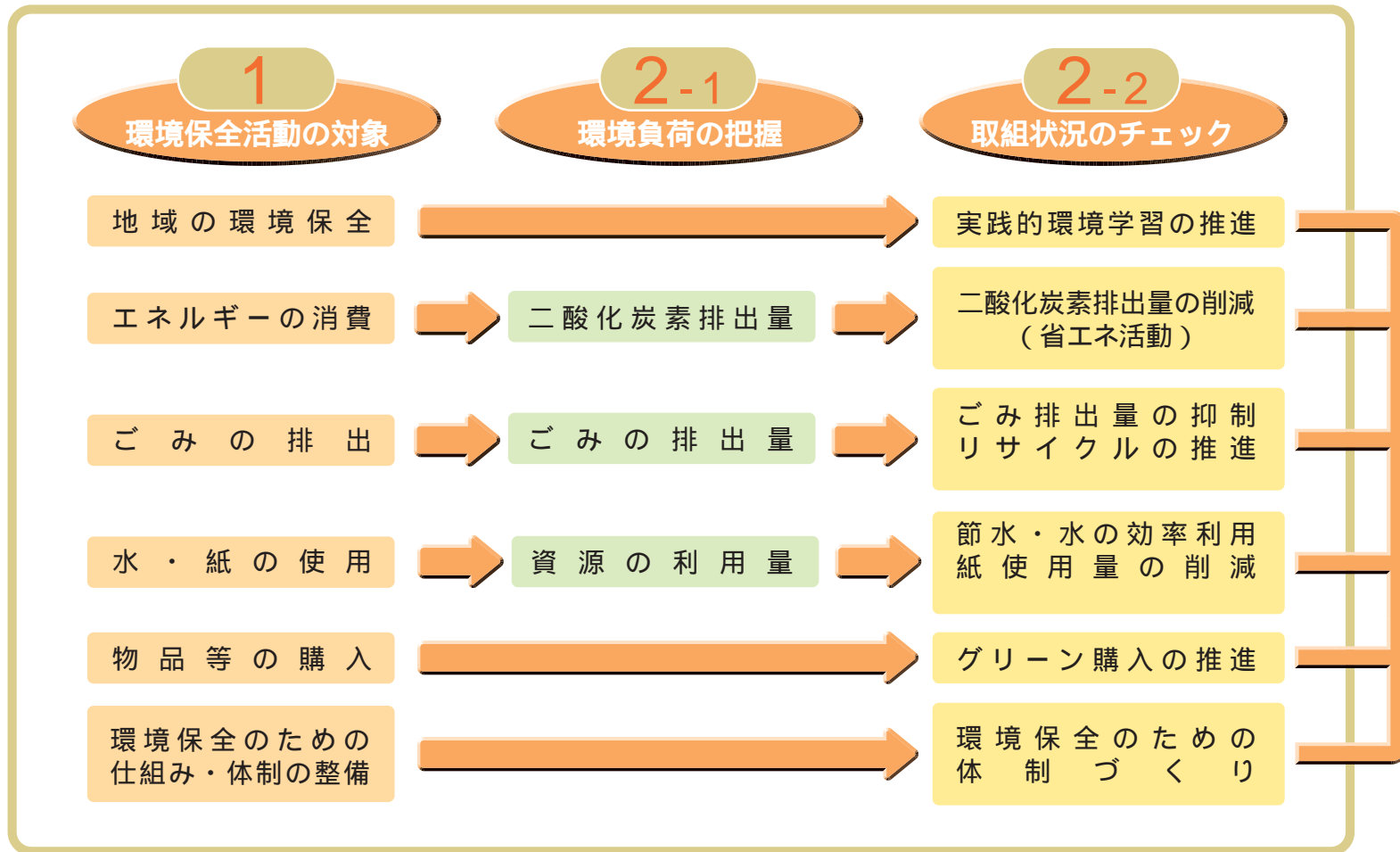
「いしかわ地域版環境ISO」は、地域での自治会活動（公民館活動・町内会活動）により発生する環境への負荷に着目して、楽しく容易にしかも効果的に環境保全活動を進めていくための指針です。

ご家庭で取り組む「いしかわ家庭環境ISO」と併せて実践することにより、地域全体の取り組みとして、より効果的に活動保全活動を進めていくことができます。

「いしかわ地域版環境ISO」の構成と概要は、下の実施フロー図のとおりです。

【 いしかわ地域版環境ISO 実施フロー図 】





2-2 取組状況のチェック

現時点での取組状況を認識することにより、今後実施していくべき具体的な取組を明らかにします。

取組項目	取組内容	取組状況
実践的環境学習の推進	環境に関する講演会の開催、先進地の視察などにより環境学習を行っている。	
	花壇をみんなで育てている。	
	ごみゼロ運動など地域の清掃活動に取り組んでいる。	
	公民館等集会場に環境図書コーナーを設けている。	
	住民に対して、地域の美化活動に参加するよう呼びかけている。	
	住民に対して、家庭内の蛍光灯や電気機器はこまめに消し、使わないときは主電源を切って、コンセントを抜くよう呼びかけている。	
	住民に対して、部屋の冷暖房の温度をこまめにチェックするよう呼びかけている。	
	住民に対して、自動車のアイドリング・ストップを呼びかけている。	
	住民に対して、車の購入の際には低公害車の導入も検討するよう呼びかけている。	
	住民に対して、ごみの分別とリサイクルを徹底するよう指導している。	
住民に対して、食材を無駄なく使うエコクッキングを呼びかけている。		
住民に対して、買い物時に買い物袋等を持参するよう呼びかけている。		
住民に対して、洗面や歯磨きなどでは蛇口を確実に閉めるよう呼びかけている。		
住民に対して、エコマーク製品など環境にやさしい商品を選ぶよう呼びかけている。		
住民に対して、家族みんなで「いしかわ家庭版環境ISO」などに取り組むよう呼びかけている。		
二酸化炭素排出量の削減(省エネ活動)	集会場の冷暖房の温度を、こまめにチェックしている。 集会場において蛍光灯や電気機器はこまめに消し、使わないときは主電源を切って、コンセントを抜いている。 町内の街灯は、明るくなると消えるようになっている。	
ごみ排出量の抑制リサイクルの推進	ごみの分別とリサイクルを徹底している。 町内会(公民館)の行事を行うときに、発生するごみの量を調べている。 ごみが出る量が少ない行事を計画している。	
節水・水の効率利用紙使用量の削減	集会場のトイレなどの蛇口は確実に閉めている。 集会場の屋根に降った雨水を貯めて花壇等にまいている。 会議資料などは両面コピーをする。	
グリーン購入の推進	集会場で使用するトイレペーパーや文房具はエコマーク製品など、環境にやさしい商品を選んで利用している。 集会場に備品類を整備するときは、リースやレンタルを利用している。	
環境保全のための体制づくり	環境美化委員など、環境保全活動のための役割分担が決められている。 環境保全活動を行う計画(環境行動計画)を定めている。	

3 環境行動計画の作成

これまでのチェック結果をもとに、環境行動計画を作成します。

- (1) 自治会の概要.....所在地、代表者名、担当者名、世帯数、住民数等
- (2) 環境負荷の現状.....「2」で把握した結果を記述します。
- (3) 活動の宣言及び環境負荷低減等のための目標の設定.....現状をもとに目標を設定します。
【例】二酸化炭素の排出量を 年間で %削減する。
年間利用者1人あたりのごみ排出量を対前年比 %削減する 等
- (4) 環境保全にむけた自治会役職員、地域住民などの具体的活動内容
.....環境保全のための取組をどのようなスケジュールで取り組んでいくか記述します。
- (5) 実施体制.....自治会役職員、地域住民の役割等を定めます。

1 環境保全活動における評価項目の選択

まず、何を環境保全活動の対象とするのか選択します。

県の「いしかわ地域版環境ISO」の認定を受けるには「エネルギーの消費」、「ごみの排出」、「水・紙の使用」、「環境保全のための仕組み・体制の整備」の4項目は評価項目に選ぶことが必要です。

2-1 環境負荷の把握

地域での自治会活動におけるエネルギーの消費量(二酸化炭素排出量)、ごみの排出量、水・紙の使用量(資源利用量)を調べます。

(例) 二酸化炭素排出量の把握

(二酸化炭素排出量は、使用量に二酸化炭素排出係数をかけ算して算出してください。)

エネルギー	使用料	二酸化炭素排出係数	二酸化炭素排出量
購入電力	() kwh	0.36	() kg - CO ₂
燃料	灯油 () リットル	2.5	() kg - CO ₂
	A重油 () リットル	2.8	() kg - CO ₂
	都市ガス () m ³	2.1	() kg - CO ₂
	LPガス () m ³	6.3	() kg - CO ₂
自動車用燃料	ガソリン () リットル	2.3	() kg - CO ₂
	軽油 () リットル	2.6	() kg - CO ₂
二酸化炭素排出量の合計			() kg - CO ₂

4

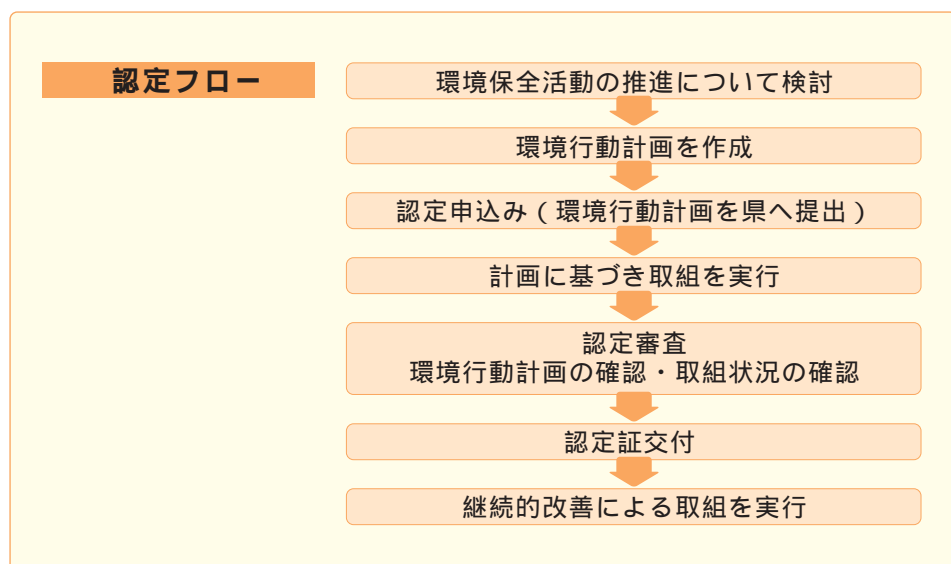
環境行動計画に沿った活動の実施

環境行動計画を作成しても、これをかざっておくだけでは意味がありません。環境行動計画にそって自治会役職員と地域住民の各々が責任を持って具体的な取組を進めていくことが重要です。取組の状況は定期的にチェックし、環境負荷の状況や取組の結果を記録しておきます。

5

認定

環境行動計画を作成し、積極的に環境保全活動に取り組んでいる自治会（町内会・公民館等）は、県の認定を受けることができます。



審査に合格した自治会には、認定証が交付されます。

6

活動結果の評価と計画の見直し

活動結果の評価をもとに、環境保全活動の効果があがるよう取組内容を定期的に見直ししていくことが必要です。また、より高い目標や新たな目標を設定するなど、必要に応じて環境行動計画自体の見直しをしていくことが望まれます。

『いしかわ地域版環境ISOー地域における環境保全活動指針ー』の全文はインターネット上でご覧になれます。 <http://www.pref.ishikawa.jp/kankyo/pp/iso-local/>



石川県環境安全部環境政策課

〒920-8580 石川県金沢市鞍月1-1

Tel 076-225-1462 Fax 076-225-1466

R100

古紙配合率100%白色度70%の再生紙を使用しています。

環境保全活動の実践例

二酸化炭素排出量の削減



七尾市高階公民館では、冷房の設定温度を厳守し、省エネに取り組んでいます。

二酸化炭素排出量の削減



金沢市弥生公民館では、省エネ調理方法（保温方式によるライスカレーづくり）の普及を行なっています。

ごみ排出量の削減



輪島市河原田公民館では、ごみの分別を徹底し、リサイクルを推進しています。また公民館行事を行なう際は極力ごみの出ないように心がけています。

水使用量の削減



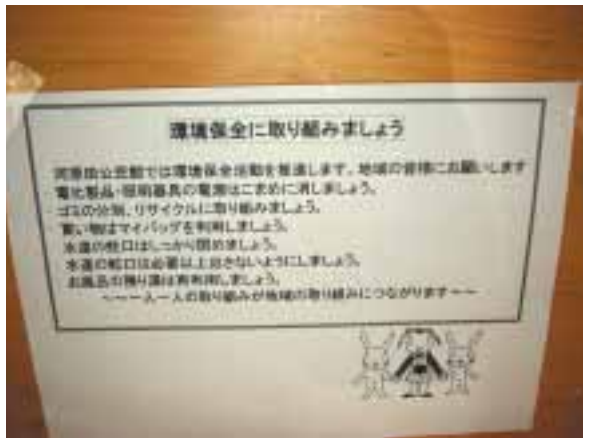
小松市東山町公民館では、水道水は大切に使い、節水コマの使用を普及しています。また、木場湯の水質を改善するために、廃食油石鹸の使用を普及しています。

紙使用料の削減



七尾市御被公民館では、コピー用紙は再生紙を使用し、また複数ページの場合は両面コピーとするなど紙使用料の削減を行なっています。

取組宣言



輪島市河原田公民館では、環境保全活動に取り組む宣言文を公民館内に貼るとともに、公民館報にも掲載し、地域住民に広報しています。